授業科目 機能解剖学 [[

【担当教員名】		対象学年	4	対象学科		スポ					
入野	康治	開講時期	後期	必修選択	選択						
小北		単位数	2	時間数	30						
【カリキュラムポリシーとの関連性】											
知識・理解	思考・判断		関心・意欲	態	度 技能・表現						

解剖学の内、運動器(筋・骨格)に焦点を当て、講義を行う、本授業では身体の各部位ごとに筋形状、筋機能、神経支配について学習し、機能解剖に関する理解を深める、更に、歩行や走行、スポーツ動作における筋・骨格の役割について学習し、スポーツ外傷・障害の発生要因や、パフォーマンスの向上につながる要因についても学習する。

【学習目標・行動目標: SB0】

- 1. 各部位の筋形状、筋機能、神経支配について理解する.
- 2. 運動器とスポーツ外傷・障害との関連やスポーツ動作との関連を理解する.

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション	1	講義
2	筋の形状と機能 上肢 1	1	講義
3	筋の形状と機能 上肢 2	1	講義
4	筋の形状と機能 上肢3	1	講義
5	筋の形状と機能 下肢 1	1	講義
6	筋の形状と機能 下肢 2	1	講義
7	筋の形状と機能 下肢 3	1	講義
8	筋の形状と機能 体幹	1	講義
9	筋の形状と機能 理解度確認	1	理解度確認テスト
10	神経支配 1	1	講義
11	神経支配 2	1	講義
12	歩行・ランニングの運動学 1	2	講義
13	歩行・ランニングの運動学2	2	講義
14	スポーツ外傷・障害と関節機能	2	講義
15	神経支配,歩行,スポーツ外傷・障害と関節機能 理解度確認	1	理解度確認テスト
ı			

【灰巾囚音】	▽10/	\411 /	ヘ光11/11/	< 元刊 中 · 岡市 他 /
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	公認アスレティックトレーナー専門科 目テキスト2:運動器の解剖と機能	財団法人 日本体育 協会	財団法人 日本体育 協会	
	筋骨格系のキネシオロジー	嶋田智明	医歯薬出版	2005 • 10,000 円
その他の資料				

/ 芋去々 >

/発行所>

/発行年・価格 他へ

【評価方法】

【佑田図聿】

/圭々へ

定期試験

【履修上の留意点】

毎回、授業開始時に前回内容の小テストを行う。